

**Q** 頓原長谷線改良は  
**A** 周辺整備と共に



永井 章議員  
旧頓原小学校跡地に商業活性化事業を導入し、併せて道路整備する計画があったが実現しなかった。このたび飯南町過疎地域自立促進計画に頓原長谷線の改良が計画されているが、路線の起点である国道54号交差点から中学校へ向かう一部の区間、特に寺沢、飯南病院、生涯学習センター方面から



町道頓原長谷線

国道交差点へ向かう際に見通しが悪く、通行に危険がある。

また、隣接する場所に、老朽化した旧町民体育館があり、道路改良事業で撤去すれば道路の線形もよくなり、一般の通行はもちろん、小・中学生が安心・安全に通学できる道路になる。平成24年度に調査し、平成25年度から事業を進めるべきだ。

**Q** 志々地区に住宅を  
**A** 住宅建設は検討

永井議員

町の定住対策によって、U・イーターン者は、合併以来119人におよんでいる。定住対策事業として、空き家バンク制度、定住促進賃貸住宅の建設など対策が軌道に乗りつつある。引き続き重点施策として推進すべきだ。



整備される移住体験住宅

山崎英樹町長  
頓原長谷線の道路改良は、これまでの経過で整備されていない。この路線は、頓原寺沢花栗線との交点の角度が鋭角で見通しも悪く、周辺には施設が累積しているために歩行者も多く危険であることは認識しており、改良が必要だ。

実施時期については、国の公共予算配分との関係もあり、周辺整備の方向づけを行い実施すべきと考えている。

**Q** 農業振興の責務は  
**A** 決意新たに全力で

石原議員

町の農業は、このままではあと3年経つたら崩壊する。一刻も早く即効性・波及効果・持続性が期待出来る農業創出に町長の政治生命を懸けるべきだが、責任を果たす覚悟は。

さらに、定住対策には仕事の確保が必要だ。町内企業はもちろん、通勤圏である出雲市方面を含む仕事場の斡旋など、引き続き仕事の確保に努める。

**Q** サプロ島根破産後は  
**A** 事業を再構築したい



石原敏郎議員  
町長は、株サプロ島根に対し、多大な支援をしてきたにも係わらず、同社は一方的に松江地裁に自己破産を申し立てた。この厳しい現実をどう受け止めるか。

法的整理によりサプロ島根は倒産。私的整理ができた結果、事業継続は不可能だが、当面の方針を問う。

**Q** 飯南高躍進に力を  
**A** 教育長と共に頑張る

石原議員

県知事部局の事業を受けて「飯南高校魅力づくり協議会」が設置されたが、事業の真の狙いは何か。また、協議会の委員長に教育長が就任したことで教育委員には重大な責任があり、委員の視察研修は必要だ。研修費は十分手当てすべきだ。

支援組織が二つ存在することになったが会議は手段だ。目的は地域とともに歩む飯南高校の躍進にある。会議に踊らされることのないよう、町長と教育長は連携しあって将来に備えるべきだ。

**Q** 農業振興の責務は  
**A** 決意新たに全力で

山崎町長

この事業の真の狙いは、高校と地域の本気度が試されることにあると思うのでしっかりと対応し、地域とともに歩む高校をめざし、教育長と共に取り組んでいく。

視察研修費など必要な教育予算は手当てしていく。

**Q** 農業振興の責務は  
**A** 決意新たに全力で

石原議員

町の農業は、このままではあと3年経つたら崩壊する。一刻も早く即効性・波及効果・持続性が期待出来る農業創出に町長の政治生命を懸けるべきだが、責任を果たす覚悟は。

山崎町長  
いろいろな行動して来たが十分な成果をあげていない。付加価値のつげられる農業をめざし、もう一度取り組み姿勢を整理し、決意新たに全力をあげなければならぬと肝に銘じている。

山崎英樹町長  
サプロ島根から自己破産について報告はなく、私として割り切れない気持ちだ。町民の皆様並びに議会に申し訳なく思っている。

山崎議員  
どうしても事業継続したいのなら町長の職を辞して自らが経営すべきだ。サプロ島根の出来事は町政の危機であり、町長としての本質と度量が試されているが、最善をつくされたい。

その他、次の4点について質問がありました。

飯南町立小中学校における国旗国歌の取扱いについて、教育長に答弁を求めた。  
次回9月議会で役場職員給与のあり方を問うことを前提に、町内民間企業と役場職員の「給料・給与・人件費」について、一般質問での公表を町長に求めた。

町長は役場新庁舎建設を前提に検討委員会を設置したが、新庁舎建設自体の是非を検討すべきだ」として、町長の所見を求めた。  
平成24年4月1日の保育所業務委託への備えについての現況を町長に求めた。